

令和元年産 紀南の梅産地情報

19/05/09

1. 4月16日の定点調査では、小梅の着果数は前年より少なく・平年並みであった。古城は前年並みで・平年より多かった。主力の南高は前年よりやや多く・平年より多かった。(平坦部に着果が多く、山間部が少ない傾向)



定点調査の着果数（枝径2センチの枝当たり）と着果率

品 種	平成31年				平成30年		平年 (H21~30)	
	着果率	着果数	前年比	平年比	着果率	着果数	着果率	着果数
小 梅	45.1%	125	79%	108%	39.3%	158	29.8%	116
古 城	10.2%	27	93%	142%	9.8%	29	5.7%	19
南 高	19.8%	52	118%	133%	13.9%	44	12.2%	39
在来系	11.0%	50	152%	132%	8.5%	33	11.8%	38

2. 5月7日時点の定点調査の実肥りは、小梅 15.2mm（平年比 90%）、古城 25.1mm（平年比 85%）、南高 26.1mm（平年比 88%）となっている。
3. 5月9日梅部会まとめの生産予想量は、小梅 785 トン（前年比 73%、平年比 90%）、古城 531 トン（前年比 75%、平年比 83%）、南高 21,826 トン（前年比 85%、平年比 97%）、在来系 407 トン（前年比 71%、平年比 74%）を見込んでいる。生産量は今後の気象等により変動することがある。
4. 販売開始時期は、現時点で南高は5月末頃からを予定している。
5. 結実後の気温は、4月上・中旬は平年より低く推移したが、4月下旬は平年より高くなった。降水量は4月上・中旬は平年より少なかったが、4月下旬は平年より多かった。

月 旬	平均気温 ℃				降水量 mm			
	31年	30年	29年	平年	31年	30年	29年	平年
4月上旬	12.1	15.0	14.2	14.0	2.0	13.5	105.0	50.8
4月中旬	14.2	16.4	16.6	15.4	17.5	19.5	63.5	43.1
4月下旬	17.7	17.6	16.0	16.3	96.0	42.0	10.0	48.6

南紀白浜気象データより